

たより



ユッカの会会報 第22号 平成23年1月15日(土)発行
横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民センター12階
かながわボランティアセンター(情報コーナー)内 ユッカの会代表 沼波万里子

新春に思う・・・

沼波 万里子

早いもので終戦から66年目の新春を迎え、感慨無量の想いでございます。

当時誕生された方々も既に還暦を越え、日本と共に横浜も大きく様変わり致しました。横浜名所の一つ氷川丸も修復工事を終え歴史をきざむ唯一の船体として公開されております。

豪華客船「氷川丸」も戦時は病院船、戦後は引揚げ船としても活躍しており、そうした意味をこめて今年2月19日、20日の2日間、平和祈念フォーラムの記念行事が同船内で開催される事となりました。私も語り部の一人として参加させていただきます。

私自身今年は満90歳を迎え、加えて昨年は耳の手術をいたし、少々体調をくずしておりますが、それでも戦中戦後の記憶はなまなましく、現在尚、忘れる事はございません。ところが、終戦時実際に身をもって苦労を体験された方々の多くが既に他界、或いは記憶を喪失される等、当時の状況を語り伝える方が年々減少しておられると

の事、私のような者でも、せめて戦時の遺物として当時を語りつぐ事が、生き残った者のつとめとも言えましょう。

日本海を越えミサイルがとんでくるような不穏な現在、ここまで続いた日本の平和を今後も更に守ってゆく事をひたすら祈ってやみません。

思えば、かつてはるばると中国から帰国された残留孤児の方々のお力になりたいと発足したユッカの会も、今はその孫、曾孫の時代へと移りゆき、当初から携わって下さった指導者もだんだん高齢化しつつあります。

そうした中で会の活動につきまして常々ご報告をいただいております、皆々様の純粋なお気持ちに深く感動し心から感謝申し上げます。

再びをかえる事なく雲流れ

吹きすぐる風 空果てもなし

(ユッカの会代表)



ほったらかし温泉

「あっちの湯」「こっちの湯」

大石 俊雄



皆さん、「ほったらかし温泉」という変わった名前の温泉をご存知でしょうか？

山梨県にあっていさわ石和温泉からふえふき笛吹川フルーツ公園を経て、小高い山の上にある露天風呂で、富士山を望み、甲府盆地の下界を見下ろす風景は最高。

男女別露天風呂、男女別内湯があつて温泉の浴場は2カ所、正面左手に「あっちの湯」、やや右手に「こっちの湯」がある。

2010年11月、町内会の日帰りバス旅行でバス二台に分乗、昇仙峡を横目に見ながら、昼食に「ほうとう鍋」を食し、入浴した。

私は、日本一の絶景露天風呂として名高いと言われた「あっちの湯」に入浴、三つの露天風呂と一つの内湯があるが、露天風呂は上段に木枠の内湯があり、30名程入浴出来る広さ、下段の露天風呂は25名程入浴可能、更に半身浴用の湯船が別にあつて15名程入れるとのこと。いずれの風呂からも眺望が非常に素晴らしい。

(注)こっちの湯平成11年開場、入浴料600円
あっちの湯平成15年開場入浴料700円、こっちの湯の2倍の広さ

名前の由来は、宣伝もサービスもなし、勝手に楽しんでという所から「ほったらかし温泉」と名づけられたとか、昔、この山の地

主が穴を掘った所、温泉が湧き出てきたのを地主は別になんとも思わず、ほったらかしにしていた所から名づけられたとの説もある。

どっちの湯もややぬるめ、のんびりと富士山を眺め、世相の雑音を忘れる事も長生きの秘訣でしょう。(横浜教室・ボランティア)



難聴物語

星 ノブ



いつのころからか聴力が衰えてきたと感じるようになった。耳鼻科で診察してもらうと、老人性難聴だと言われ、

補聴器の専門店を紹介された。ちょっとショックだったが、そういう年齢になったということだろうと思って専門店にいくと、聴力テストをして「一週間これをつけてみて下さい」と見本を渡された。

試着してみて驚きと同時に落胆した。私

は補聴器の効力を老眼鏡と同じように考えていたようだが、老眼鏡と補聴器はまったく違う。初めて老眼鏡をかけて細かい文字が明瞭に見えたときの喜び、老眼鏡があれば大丈夫だと思った。補聴器にも同様な効力を期待していたので、落胆が大きかったのかもしれない。私は補聴器を求めることを断念した。

それからしばらくして、やっぱり不便だし、「このごろデジタル化して性能がよくなりましたよ」と言われて、作ることにした。性能がよくなったといっても基本的には変わらないが、補聴器とはこんなものと大体わかっているからあまり拒絶反応はなかった。

問題は音が重なったとき。補聴器くんは私が欲する音よりも自分の好きな音をキャッチしているような気がする。高音が好きで、それもばかでかい音となって私の耳にひびき、私の聞きたい音をかき消してしまう。だから雑踏とか、駅の構内とか、数人ばらばらの会話もだめ、テレビドラマなども肝心の場面でBGMが科白を聞かせてくれない。

また、補聴器をつけたままで私がしゃべると、その音声がとても不思議なひびき方をする。マイクを通す声とも違う。どこか遠い世界から聞えてくるようで気にかかって、うまく話せなくなってしまう。くしゃみなどしたら大変だ。物を噛む音もすごい。食事をしながら見ているとテレビの音が聞えない。まだ試していないが、補聴器をして楽しく談笑しながら食事をするということは、たとえ少人数でも難しいのではないだろうか。

難聴の始まりは本人が感じるより周囲の人が早く気付くことが多いかもしれない。そして、補聴器をつければいいのにと思つかもしれない。だが補聴器さえつければすべて解決するというわけにはいかない。私が他の人と違うのかどうかわからないが、みんながまんしているのではないかと思う。

やっぱり自然の聴力に勝るものはない。できるだけ自然の状態で聞きたいと、いろいろ対策を講じている。講演会や講座などは一番前の座席に着く。長く続いている「平家物語」の講座など、講師の目の前の席が私の指定席になっている。劇場でレホンガイドのあるところではそれを利用する。会合は少人数の方がいい。一対一ならなおいい。じっくり話ができる。多人数で話がよく聞きとれないときは隣の人に「何の話？」と要点を聞く。電話の声がよく聞きとれないときは難聴であることを告げ、声を高めてゆっくり話してもらおう。早口が一番いけない。

先日老人会でお茶を飲みながら雑談していたとき、難聴のことが話題になった。老年になると多かれ少なかれみな同じような悩みを抱えている。その中の一人が「なさけない思いをするのがいやだから、いろんな会合に出なくなった」と言った。モミジマークをつけるわけにもいかないし、他の人はみな聞えているのに私のためだけに大きな声を出して、はっきり言って下さい、というわけにもいかない。それは私もよくわかる。出なくてもいい会合なら、なさけない思いを

するより出ない方を私も選ぶだろう。

だが、そのまま引きこもりがちになってしまふのは問題だ。気のおけない人たちとのホームパーティーなどどうだろう。ついこの間近所のお友達に招かれて、同年配の人たち6人で鍋を囲んで5時間もおしゃべりをしてしまった。話題は主として病気のこととその対策、みな経験豊富で話は尽きず、私にはとても参考になった。聞くことも大事だが、話すことも大事だ。聴力も衰えているが、発音、発声の器官や筋肉も老化する。大きな声で自分の意見をのべることは頭脳の活性化にもなる。聴力の衰えばかり嘆かずに、他の人に聞き易いように話す努力も必要だと思う。

レストランなどではあまり大声を出すとひんしゆくをかうだろうし、長時間ねばるわけにもいかないだろう。この間は豪華なスキヤキで恐縮したが、安い費用でもいくらでもできる。問題は場所だが、私も部屋を整理整頓して、そういう場所を提供してもいいと思っている。(横浜教室・ボランティア)

富士山に登る

李 氷

日本来てから私は心中ある夢が有ります。その夢は日本一の山の頂上で日の出を見たい、去年七月私はやっとその夢を実現しました。私は富士山に登り、そして日の出を見ました。



家へ帰った後、何か書きたい気がするがなかなか時間が取れないので、ずっと書いてなかった。富士山が日本一高く、美しい山であることを私は小学校の頃もう知っていました。今その山に登ることができたが、その時は全然考えなかった。

7月21日の夜19時、私と友達ふたりは新宿から富士山河口湖の五合目までバスに乗った。約3時間乗って、夜中22時河口湖に着いた。だがその時天気が変わりました。雨がしとしと降り続き、少しも止む気配がなかった。こんな悪天気では明日の日の出も諦めました。私たちは雨中山に登る時の安全を心配しなければならなかった。「今回の登山をやめた方がいいと思う」と友達に相談すると、友達が「一度試しに登ろう」と返事した。仕方がない。同じバスで来た登山者も山に登り始める、私たちは後ろに付いて歩き始めた。

最初の道はあまり急でなかったのて、私たちは速く歩くことができました。登山路中は真っ暗です、周りになにも見えない、ただ夜の雨と登山者の足音を聞くしかなかった。一気に七合目に着きました。七合目のあとの山道はどんどん急な坂が多くなった。

脚と手を一諸に使うことが多い。その時頭を上げて前を見ると、夜中の富士山はまるで大きな壁のように立っている、天まであるように感じた。八合目以後雨がやっと止んだ、もう22日の朝2時でした。山頂まであとおよそ3時間の道でした。雨中4時間くらい歩いた私たちはめっちゃめっちゃつかれました。だが脚を止められない、足が止まると汗と雨にぬれた体は風が当たる時身を切るようにさむかった。頂上を向いて歩くしかない。

4時30分頃やっと九合目に着いた、空はもう薄明るくなった。「ああ、太陽がすぐでますよ」と隣の登山者が大声で叫んだ。私は身体の向きを変えて見ると、本当だ、海の方で白い線がゆっくり広くなりました。上を見ると、山頂の形が良く見える、手を伸ばせば触れるくらい近い。しかし頂上から日の出を見ることは不可能になった。時間が間に合わないですから。



私は大きな石の上に立って東を眺める。雲が私の脇をすいすいと浮かび流れています。その時東の空を赤く染める太陽の端が少し見ええました。そうしてだんだん上へ上がる。「太陽が出てきました」「苦が尽きて楽が来る」私は一晩の努力がむくいられ

ました。その晩私は何回もやめたいと思っていましたが、幸い続いてきました。もしその時脚が止まったら、前の努力は全部おしまいだ。これは私たちが外国語を勉強する時遭ったいろいろの困難のようだ。もしその困難を怖がらず乗り切れば見事に外国語を話せるになります。雨垂れ石をうがっ、つまり根気よくたゆまずに努力すれば必ず事を成し遂げることができます。この海拔3000メートル以上の神聖な日の出は、勇気と知恵を持つ人々のものである。この光景を見て私は凄く感動しました。きっと、来年経験を積み重ねて再び挑戦します。(戸塚教室・学習者)

内蒙古への旅

杉山 智子

今年8月15日に母と一緒に中国へ帰りました。飛行機で羽田空港から北京まで3時間半ぐらいでした。翌日の夕方北京から寝台列車で12時間ぐらいで、帰国の第一目的地の内蒙古自治区の包頭市に着きました。おじさんとおばあさんが駅まで迎えに来ました。

私は40年前に一度きましたけれど、今と昔とは比べることができません。40年間は指ではじくように速いです。市内の道路は片側で3車線あり広くて立派です。道路の両側に沿って大きな並木が続いています。今の内蒙古は現代化の工業省になってい

ます。石炭の産出量は山西省より多く中国で一番です。全国露天炭鉱は総計五つのうち内蒙古には四つがあります。また有名な包頭鋼鉄場、包頭錫土鉱場を今建設しています。

私達は包頭で5泊6日の親戚訪問をしました。その間おじさん、おばあさんと一緒に有名な観光地の“恩格貝”に行きました。残念だったのは旅行の季節は終了したばかりだったので、砂漠体験などは出来ませんでした。でも帰る途中で意外にも中国では2番目に長く“母の河”呼ばれている黄河を見ることができました。黄河は広くて“一碗水半碗沙”言われていますが、確かに黄沙の色です。

その後私達はモンゴル観光遊覧園に遊びに行きました。施設内はあちこち全部蒙古族の特色でいっぱいでした。五色の裳裾を巻きつけたような高い柱がたくさん立っていて、蒙古族の服装を着ている人々がどこでも見えました。まるで蒙古族の祭りの列のようでした。私も蒙古族の服を着て写真を撮りました。

施設の中の“蒙古大営歓迎您”というところに蒙古族の英雄一成吉思汗の塑像もありました。塑像を見ていると“遠古時代成吉思汗統率全軍擊敗外敵統一蒙古元朝成立“の情景が目の前に浮かぶ……。

施設内の敖包も見ました。敖包は蒙古族の若者のデートの場所です。真ん中に石が積んであり、周りは五色の旗で囲まれています。これは“変わらぬ愛の誓い”の象

徴なのです

この観光遊覧園は白い蓮花の毯包、緑の草原、青い空が素晴らしい景色で、まるで絵のようにきれいでした。私たちは写真を撮って1時間ぐらい散歩しました。帰る途中蒙古族の料理店によって、とても人気のある地方特色の“手扒羊”“烤全羊”を注文しましたが残念ながら私は肉はあまり食べられなかったです。9時におばあさんの家にかえりました。

この旅は素晴らしい旅でした。私はまた行きたいと思いました。(横浜教室・学習者)

神戸観光

張帆



神戸は関西への最初の旅行として、深い印象が残っています。今まで神戸のことを聞いたことがあります、その中で、特にきれいな神戸港やおいしい神戸牛など、機会があれば、行ってみたいと思っていました。

10月6日の朝に、神戸空港に着きました。ここから一日の神戸旅行が始まりました。神戸新交通ポートアイランド線を利用して、町の中心へ行きました。途中で、海岸の景色を一望に収めることができました。青空に雲を象嵌して、静かな海にいろいろな船がありました。約20分後、神戸の中心である三宮駅に着きました。

三ノ宮は神戸の中心で、一日約60万人が利用する市内最大の駅です。三ノ宮から徒歩十五分ぐらいで南京町に着きました。南京町は横浜中華街、長崎新地中華街とともに日本三大チャイナタウンの一つです。南京町の中は中華食材、雑貨、料理など多彩な店が軒を連ねて、暖かく故郷のように感じました。

南京町から15分ぐらい歩いて、市役所ビルの24階の展望ロビーへ上りました。ロビーから神戸港、ポートアイランドなどが見えて、よく整備されている町だと感じました。三ノ宮へ戻って、シティループ観光バスに乗って、神戸の観光スポットを楽しめました。



特に中突堤です。港町神戸には東西にわたって突堤が数多く存在していますが、メリケンパークから海に向かって伸びているのが中突堤です。メリケンパークではモニュメントや、海洋博物館の屋外展示「サンタマリア号」や、超電導電磁推進船「ヤマト1」なども見ることができます。

次は北野異人館です。明治20年代から大正にかけて建設された、洋風住宅が多数残り、和風住宅と混在しています。北野異人館で一番有名な館は風見鶏の館で

す。その館は前はドイツ人貿易商の住宅でした。北野異人館の中で、レンガの外壁の建物として唯一のものです。今その館は国の重要文化財に指定されています。

夕方になって、中突堤でコンチェルトという遊覧船に乗って行きました。コンチェルトから六甲の山並みや明石海峡大橋、海に浮かぶ神戸空港、緩やかなカーブを描くユニークな外観の神戸メリケンパークオリエンタルホテルなど、神戸ならではの贅沢な景色を満喫できます。ポートタワーの赤、海洋博物館の白、ホテルの青が闇に浮かび上がるのはムード満点です。

今回の神戸旅行では、きれいなポートアイランドから、東洋と西洋が混ざり合う異人館まで、いろいろなものが見てきて、大変楽しかったです。機会があれば、また行きたいと思います。(横浜教室・学習者)

夏休み

葉 明珠

去年はいろいろな事があつた為、台湾へ帰省できなかったのが、今年の夏は2年ぶりに台湾に帰省でき凄く感激しました。



久しぶりに家族に逢い、家族の元気な姿を見て嬉しいと感じたけれど、両親の姿を見て年を取ったなと思い悲しくなりました。

2、3日たって、家族と一緒に台湾の中

部へ旅行しました。一日目は中台禅寺に行きました。とても美しいお寺です。中台禅寺に入ったとたん心が平静になり、不思議な感覚でした。次に鯉魚潭に行きました。とても大きい湖です。その後向かい側のホテルへ行き休憩して、夕飯は近くの夜市で食べました。

二日目は、自然が美しい清境農場と温泉で有名な廬山に行き、その後涼しい森林遊楽区の奥萬大へ遊びに行きました。

三日目は10数年振りに日月潭と九族文化村へ行きました。日月潭と九族文化村の間に昨年ケーブルができたので、すごく混んでいました。日月潭はとて大きくてきれいな湖です。九族文化村では、いろいろな原住民族の文化を見ることができ面白かったです。台湾の中部の旅はとても楽しかったです。

数日後、台北で久しぶりに友達と会って、いろいろな懐かしい食べ物を食べたり、買物をしたり楽しい時を過ごし、すごく満足しました。

台湾でのもう一つ特別な旅行は友人と一緒に澎湖へ遊びに行った事です。澎湖は凄く美しい海です。元元私は海が好きなので澎湖の美しさはとても感動しました。

澎湖で食べた仙草氷は一生忘れられないほどの味で、とてもおいしかったです。澎湖で船に乗って、海風に吹かれ凄く気持ち良かったです。何年ぶりに海でウォーターバイクやその他の乗り物で遊びました。すごく楽しかったです。今回私はまだまだ若いなと感じ嬉しくなりました。その澎湖の旅はとても満喫できました。

帰国する前に、たまたま姪と娘の誕生日が同じだったので、家族と一緒に祝いました。やはり家族はいいですね。また来年台湾の家族に会いに行きます。(横浜教室・学習者)

花火

任 志華



花火は日本の夏の風物詩と言われています。毎年夏に日本中あちらこちらで花火大会があります。大勢の人が見に行きます。今年の8月1日に私は初めて花火大会を見に行きました。横浜の花火大会は東京の隅田川の花火大会みたいに全国では有名な花火大会ではないですが、私にとって十分に感動しました。いい夏の夜の思い出になりました。

中国では花火は季節に関わらず、春節とか大きなイベントがある時に打ち上げられることが多いです。日本のように夏の風物詩というわけではありません。横浜花火大会は、みなとみらいの海上で行われました。その時には非常に大勢の人が見物に来たので、大変な人込みでした。早くから予約しておいて、船に乗って楽しむ人もいれば、海上に見物席を取る人もいます。私は人の流れにそって歩きながら見物しました。

花火大会の楽しみは、ふたつあると思い

ます。そのひとつは、浴衣を着ている人がたくさんいます。浴衣を着ている若いカップル達がとても目立ちます。きれいな浴衣を着て下駄を履き、恋人の手をつないで、うちわを扇ぎながらちょこちょこ歩いています。その様子は本当に日本らしい光景ですね。見物人の中には浴衣を着ている金髪な外国人もたくさんいます。みんな日本の夏の特有の行事を楽しんでいます。

もうひとつは、もちろん花火のことです。「ヒュー」と音がして花火が夜空を赤く染めました。ひとつの花火が上がってから消えるまで3~4秒です。まるで夜空に咲く花のようです。次から次に「ドーン」と上がって「パッ」と広がっていろいろな色や形に変化します。それは「しかけ花火」と呼ばれていて、毎年県内でコンテストも行われます。県内の小学生から募集した絵を元に製作された花火のことです。子供達にとって自分が描いた絵を花火で夜空に打ち上げられて、きっと一生忘れられない思い出になるでしょう。皆がまだ楽しんでいるうちに花火は夜空に消えてしまいました。その瞬間の美しさこそ人々の心が掴まれるでしょう。

花火はきれいですが、お金がけっこうかかるそうです。花火大会にかかる花火玉費用は4000~5000万円ぐらいが一般的だそうです。近年不景気で規模を縮小したり中止になったりする花火大会が相次いでいます。伝統を守るため、いろいろな工夫をしています。例えば個人の自腹で老婆ちゃんの誕生日に「お誕生日おめでとう」とい

う形の花火が打ち上げられることもあります。家族の祝いをこめていた花火を見て、なんと幸せなことでしょう。と同時に中止になった花火大会が復活することができて、一石二鳥ではないでしょうか。(横浜教室・学習者)

私の故郷

青木 きん



私の故郷大連は、中国東北地方の南端に位置し、海を隔てて山東半島を望むことができます。山あり海あり、大自然の景色はとても美しく、気候もよく冬の寒さもそれ程厳しくないし、夏も暑さもひどくありません。広々とした海、四季それぞれに美しい海浜公園、海水浴場はわが国の有名な観光地であり、避暑地でもあります。毎年非常にたくさんの観光客が訪れます。

大連、私の故郷は子供の時から心の友で、学生時代の学友、共に仕事をした同僚も美しい大連と共に忘れ難いものです。そして大連は、中国の北方の重要な港です。天然の良港、不凍港です。貿易と観光の都市です。大連はりんご、黄桃、桜桃などの大産地で、鮑魚、海參、エビ、ホタテ貝などの海の幸が国の内外によく知られています。

大連の昔の名前は旅大で、1981年に大連市になりました。大連の人口は589万人で、その内254万人が市内に住んでい

ます。市内にも数えきれないほどたくさんの風光明美な場所があります。たとえば、星海公園、老虎灘公園、大連森林動物野生放養園、聖海洋世界公園、労働公園、棒極島景区などなど・・・。

もし暇ができたなら是非美しい大連市に来てください。あなたはきっと悩みを忘れて、楽しい事を見つけることができるでしょう。(横浜教室・学習者)

写経と座禅の体験

廖 忠

ある年の10月31日社会人聴講生である私は神奈川県総合高校の生徒とともに写経と座禅を体験した。



その日は、すこし曇っていた。風が吹くと肌寒く感じた。境井先生に引率されて、学校の近くの孝道団の本部である孝道山に向かった。

孝道山教団の寺廟は山上に建てられている。孝道山の地勢は高く広い。坂を上ると、視野が広がる。横浜の市街地とみなとみらいの風景がはっきり見える。孝道山の本堂が威風堂々と目の前に現れた。

孝道山の御坊さんが迎えに来た。皆さんは御坊さんについて、本堂の中に入った。そこで御坊さんは孝道山の歴史、建立の経緯、創始者及び現在の活動について紹介してくれた。本堂はゆったりとした空間が

あって、地面に芝生のような緑のカーペットが敷かれてある。明るくて爽やかな場所であるが、静かな空気が漂っていた。話が終わると、写経室に連れられた。

皆さんは皆初めての体験かなと思う。すこし緊張する気がした。誰もお喋りしなかった。ただ御坊さんの指導どおり行動した。写経する前にまず、香を焚き、経を唱え、乱れた心を整える。それから、真心を込めて、写経を始める。

リンーリンー打ち鳴らした音が写経室に響き渡る。写経が始まった。用意されてあった経に一枚白紙を重ねて、硯に墨汁を入れて、細い筆を執って、一画一画と書き始めた。書くと言うよりなぞるのだ。これはもっと難しい。自分の思ったままに書けないので、細心の注意を払わないといけない。久しぶりに筆を執ったので、力が入りすぎたか、手が思わずにすこし震えていた。心が揺れているのかと思い、深呼吸して、心を落ち着けて、また続けた。

やっと書きおわった。フーと息を出した。原文と照らし合わせて、間違いないと安心した。周りの生徒を見ると、一心不乱に真面目に頑張っていた。

写経が終わったら、御坊さんが次に行く座禅について説明してくれた。「座」という字は二人がいる。実はこれは自分を自分が見つめることで、自分の本心を見極めると言うことが座禅である。なるほどと思った。静座するとき、できるだけ何にも考えない。雑念がたくさん起こったら、お坊さんが手に

握っている長い板を振って、微笑みながら「これでみんなの肩を叩くよ」とおっしゃった。「でもそんなに痛くないよ。心配しないで」。

座禅室に入った。静かなところだった。仏像が祭られている。お花、果物などが供えられている。皆さんは座禅を組み、目を半開きにし、両手の指先が触れしるようにて輪にした。正座が始まった。何にも考えず、ただ静座に専念したかったけど、時々、頭に日常生活の些細なことが浮かんでくる。雑念が行ったり、きたりしているうちに、時間がたった。お坊さんが結局やってきた。すこし頭を下げて、御坊さんの板で軽く叩いてもらった。痛くないけど、雑念は依然として消せなかった。

見るのは優しいけど、やるのは難しい。これが私の写経と座禅を通しての体験である。(横浜教室・学習者)

環境についての話

夏 永艶

日本へ来たことのある中国人は、きっと日本の豊かな自然と綺麗な町に印象を深めることでしょう。私もそうだったので、日本での生活を頑張ろうと決めました。来てからしばらくして、横浜市ではごみの分別収集を始めました。当時私の勉強していた国際交流センターで外国人のために何回もごみの分け方をテ



ーマにした講座がありました。毎日面倒くさいと思いながらごみの分別作業をやっていた私は、今ではこの習慣がすっかり身に付きました。

この夏休みに私は3年ぶりに中国へ行ってきました。前は北京オリンピックが開催される前の年でした。その時、環境改善のためにいろいろな取り組みが始まりました。工場を郊外に移転させ、偶数、奇数の車両ナンバーによる交通規制などの対策が行われました。そのおかげで、1998年のオリンピックは順調に開催しました。今はどうかなあと心配していた私は飛行機が空港に降りたときに「綺麗になった」と思わず言ってしまうました。昔の埃っぽい空は本来の青空に戻ってきたようです。樹林、芝生が多く見えてきて、道路上もごみが少なかったです。ずっと北京に住んでいる人はあまり感じていないようでしたが、私は感動しました。

出かけてみると、いろんなことが変わったことに気がきました。タクシーが値上げされたとともに1元の燃油費を別に支払わされました。一方、バス、地下鉄などの公共交通は本数が増えた上に安くなりました。自家用車はまだナンバーによる交通規制がありました。スーパーで買い物したら、ビニール袋は全部別料金なので、マイバッグを持っている人は大勢いました。繁華街にはごみ箱があちこちにあって、清掃員もよく見かけました。ただ、ほとんどのところはごみの分別はまだやっていませんでした。全体的に改善して来たのを嬉しく思いますが、

人々の環境への関心度はまだ日本と比べ低いようです。また、首都と地方、町と農村では、環境保護の意識に大きな差があるそうです。経済の発展を優先して環境保護はその後でよいと言う考え方も少なくないようです。そうすれば、環境破壊の進みは止められません。かつて日本で50、60年代にかけて水俣病、イタイタイ病など四大公害病が発生したように、公害問題が出てくることを避けられないでしょう。

日本は以前の教訓を踏まえて、公害関係の法律が次々定められました。今まで、環境保護の意識は生活の隅々まで浸透していました。省エネルギー技術の進歩によりエコ家電、自動車などの販売、エコライフの宣伝と取り組み、ボランティア活動の広がりなど、あらゆる面で環境へ優しい生活タイプを提唱、実践してきました。

この間私は自治会の日曜清掃に参加しました。近くの歩道を1時間ぐらい歩いたら、タバコの吸殻、ペットボトル、プラスチック容器などのごみがいっぱい集まったので意外でした。こうしたボランティアたちの力がなければ、町はどんどん汚れていくだろうとつくづく感じました。

環境に国境はないとよく耳にします。中国の黄沙や光化学スモッグは海を越えて日本へ来ています。ひたすら文句ばかり言うのでは効果がありません。有識の日本人志願者たちは足を運んで中国まで植林に行きました。とても尊敬すべき行為です。中国では経済発展と同時に環境保護の

政策、法規を強化すべきです。また先進国から技術面の支援も大事だと思います。我々一人ひとり環境保護の意識を高めることがもっとも大切ではないかと思います。

(横浜教室・学習者)

徹底的にゴミの3Rを 行いましょう

2010・10・5鶴見工場見学レポート

井上 政春

見学の最後に職員の方はゴミの3Rについて説明してくれました。3Rとは英語の単語のReduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)の三つの単語の頭文字を取った略称です。



リデュースはゴミをつくらないことで買い物をするときは家にあるバッグを持って行ってレジ袋をもらわない。使わない割り箸やスプーンをもらわない。食料品は必要な分だけ買う(大量に買うと賞味期限が切れたらゴミになる)ということです。

リユースは何回も繰り返し使うこと。詰め

替えできる商品を選ぶこと(例:シャンプー、リンス等)。いらなくなった物や小さくなった服は、使いたい人にあげるか、フリーマーケットにだすとかです。

リサイクルはゴミを再び資源として再生利用すること。資源になりそうなゴミをきちんと分別を行って出す。リサイクル品を使ってリサイクルの輪をつなげることです。

私は買い物の時にいつもバッグを持っているし、修理できない家電製品は解体して、金属部品は資源にまわし、プラスチック部品はなるべく小さくして出し、いらぬ書類やちらし広告の空白をメモ用紙にしています。

私たちはこれらの3Rをいつも頭の中にいて、これからもゴミの減量に努力しましょう。(横浜教室・学習者)

「鶴見清掃工場」と 「皇居東御苑」見学

友澤 武雄

2010年10月5日、今日の天気は秋晴れでした。朝8時頃「中国残留邦人しゃべり場」の皆さんは、横浜駅西口高島屋の前に集ってきました。今日の行き先は「鶴見清掃工場」と「皇居東御苑」を見学します。旅行参加者は80幾人ですので、人々は緑や黄色のハンカチで身に印をつけて、2組に分けて2台のバスに乗りました。8時40分バスが発発始めました。

9時半頃バスが「鶴見清掃工場」に到着しました。工場の職員は私達を迎えに来ました。それで皆さんは工場の見学を始めました。1組は工場の各階を見に行きます。1組は会議室に集って工場の情况进行紹介されました。

私が会議室に入った時目を引いたのは、周りの壁にいつからかいっぱい貼った「焼却工場の皆さんへ、ありがとう！」と書いた感謝状でした。私は近づいて見ると、それは各地の〇〇小学校四年生とか〇〇小学校五年生の生徒たちが、この工場を見学した後に貼ったそうです。

まもなく、会議室で工場の職員がカーテンをとじて、映画を上映しながら、横浜市のごみ清掃、焼却工場の発展の歴史を詳しく紹介しました。横浜市のごみ清掃工場は大正時代から始まり発展して来たそうです。今、平均すると、1日に約800トンのごみが集められているそうです。鶴見工場では毎週約400トンのごみを焼却していました。工場の煙突の高さは約187mです。毎日燃やすごみの焼却は全部自動的に終わります。ごみを燃やす熱で発電もしています。ごみを燃やすと小さな灰になり、重さは約六分の一になり、大きさも約40分の一にな



るとのことでした。資源ごみは分別して、リサイクルされます。例えば、金属類はアルミ缶やスチール缶など、建設現場に見かける鉄筋製品などに使われているそうです。プラスチック製の容器包装もリサイクルされます。びんは新しいガラスびん製品になるのです。だから、「皆さん、ごみを正しく分別してください」。ごみを多くしないために「皆さん、買い物の時できるだけ自分の袋を持って行ってください」と呼び掛けていました。

会議室を出た後7階の工場を見学します。職員は私達を連れて一階から二階にと順番に紹介しました。私はまじめに見ながら歩きました。工場の各階はとてもきれいでした。機械を動かしても騒音が聞こえません。主控室中には6台の監視カメラがあり、その前に人が座って監視していました。各部の状況が全部見えます。最後に7階に登りました。こちらから外を見ると、近くは海でした。近隣はほかの工場ばかりです。ここからは住宅が見えません。

11時20分頃見学が終わりました。そして旅行バスで東京へ行き昼食は東京でします。

東京へ行く途中、バスの中で先生から歌の本をもらいました。この本を開いてみると、日本の歌が51曲、中国の歌謡8曲もあります。張新禄さんは歌が上手なので、彼は皆さんを誘って一緒に歌を歌いました。そばにいた私の兄はハーモニカを吹き伴奏しました。皆さんは「この旅終えて町へ帰ろうー」と歌って、車内はもつとにぎやかになりました。12時すぎ東京に到着しました。

食事の所は東京の有名な「四川料理大排当」という「食べ放題レストラン」です。急に80人ぐらいの旅行者が来て店が満席になりました。店内ではみんなが話したり、笑ったりしてとてもにぎやかでした。誰かが「食べ放題しましょう」と呼びかけたその瞬間、みんなすぐ取り始めました。それで私は大皿を持って、一列に並んでいるいろいろな料理を見ると「どれもおいしそうな料理ですね、とにかくどれでも食べてみよう」と思いながら取りました。これは四川料理です。のでちょっと辛味があります。私達はゆっくり食べて、おなかがいっぱいになって満足しました。

ちょっと休んだ後、午後2時みんなは皇居東御苑へ見に行きました。皇居東御苑のパンフレット内には、「皇居造営の一環として、昭和35年1月29日の閣議決定に基づき、皇居東地区の旧江戸城本丸、二の丸および三の丸の一部を皇居付属庭園として整備することとなり、昭和36年に着工し、昭和43年9月に完成したもので、面積約21万㎡の庭園です。昭和43年10月から宮中行事に支障のない限り一般に公開されています」との事が分かりました。



皇居東御苑はとても広がりました。目を向けたのはきれいな樹と緑の芝生でした。これは珍しい庭園です、まるで江戸時代の日本を見るかのようでした。私達はその30幾つかの景観を順番に見ながらゆっくり歩きました。目を引いたのはただただ美しい景色でした。見たことを日本語ではっきり表すように書くのは大変難しいです。私達は約1時間半ほど歩き回り終了しました。

皇居東御苑を出た後、皇居二重橋を見に行きます。二重橋の前で皆さんは写真を取りました。午後4時半になって、皆さんは旅行バスに乗って横浜駅へ帰りました。今回の見学、とても楽しかった。(横浜教室・学習者)

日本に住んで

李 艶紅

あっという間に、日本に着いてから8ヶ月が経過しました。日本に着いたばかりのことは昨日発生したように思い出します。この間に、嬉しかったり、悔しかったり、悲しかったりなど、いろいろなことがありました。

4月5日、この日は曇りでした。両親と別れて、私を乗せた飛行機は日本に向って飛び立ちました。飛行機が到着するころ、窓の外を眺めていると、いつの間にか雨が降り始めていました。いやだと思いながら、入国手続きを済ませて、後は待ち合わせ



をしていた同僚に連絡を取りました。雨の中を歩いて、バスに乗り、電車に乗り換えて、やっとホテルへ着きました。これは私の日本に来た第一日目です。疲れたり、興奮したり、日本のことが何も分らないので、とても不安でした。

日本の空は青くてきれいでした。鳩やカラスの姿はあちこちで見えます。周りの人々は日本語で話し合います。やはり、私は日本に住んでいるんです。私にとって一番深いイメージは、日本人がやさしい民族です。朝、出かける時、マンションの管理者は「行ってらっしゃい」と声をかけてくれます。スーパーで重い荷物を持った時、手伝ってくれました。道に迷った時、みんなは詳しく教えてくれて、とても親切です。

毎日毎日暮らして、日本の生活にすっかり慣れて行きました。料理を注文する時、メニューの内容が分るようになりました。日本語が上手になるために、ユッカの会の砂田先生に会いました。日本語だけじゃなくて、いろいろな日常生活や個人的な悩みに対しても、アドバイスをくれました。会社が休みの時、仲間と一緒に旅行したり、飲んだり、楽しかったです。

日本に着いてから、私は毎日を一生懸命に過ごしています。中国にいる両親もきっと喜んでいると思います。残る

日本での生活を素晴らしく有意義に過ごしたいと思います。

(横浜教室・学習者)



中国初旅道中記

飯田 靖子

中国語を習い始めて少し経った頃、同じ教室の数人と簡単な会話が少々できるようになったので、中国に武者修行に出掛けてみようということになった。6人いれば文殊の知恵の倍だと意気込み、旅行社のツアーには加わず、白老師の協力を得ながら自分達で企画しての旅だ。航空券は旅行社に依頼、現地での列車や飛行機のチケットの手配は老師の友人に頼んだ。



20数年前の、時は9月22日大連経由で北京に向かった。北京に着き先ずすることは兌換券との両替であるが、レートさえ確認しておけばここでは「謝謝」位で済む。ここからが学習した言葉をどれほど発せられるかを問われる事になる。面包車(小型マイクロバス)に乗り込み小一時間かけてホテルへ。この間運転手と片言の中国語で会話が成立。到着後間もなく北京でのガイドを引き受けてくれた老師の友人向さんが現れた。一面識もなかったがすぐそれと分かった。彼女の日本語も我々の中国語と同レベルだったので、身振り手振りで会話が弾み夕食の一時を楽しく過ごした。

23日快晴。北京の秋は一年を通して最良といわれる季節だ。午前中は北京の銀座といわれる王府井へ。途中、街のニイハオトイレは敬遠しなさいとの老師の助言通り、高級ホテル北京飯店で堂々とトイレを

拝借。王府井通りは外国人や地方からの観光客でごった返していた。土地っ子達が棒アイスを齧りながら歩くほど気温は上がっていた。北京ダックで有名な全聚徳へ行く時、初めてトロリーバスに乗った。公共乗り物内の混雑時に発する一言を言いたかったが、生憎空いていたので残念ながらお預けとなった。一流店での北京ダックを堪能したが、タレは日本の方がまるやかだ。帰りはこれも初めての地下鉄に乗車。案内役をかってくれた向さんは時にはガイド、また時には参謀役、中国語の老師として活躍してくれたので何とかこの日をクリアした。

24日洛陽へ。日本で午後6時発洛陽行きの軟車(1等)寝台列車を予約してくれてあった筈なのに、現地旅行社により10時発の硬車(2等)にすり換えられていた。洛陽のガイドがこれを承知か不安で出発したが、幸い近く席に日本語を学習中の大学生が乗り合わせていた。彼は人柄も良さそうで、日本語も堪能だったので、洛陽に到着した時の事を依頼した。果せる哉ガイドの出迎えは無かった。この先が案じられたが、学生と駅員が旅行社に連絡を取ってくれたので、ガイドは数十分後に慌てる風でもなく「你們来了！」と言いながらやって来た。



洛陽 龍門石窟



洛陽 龍門石窟

洛陽は八つの王朝が築き上げた古都で、杜甫、李白等の詩人が活躍した所と聞いた。龍門石窟は敦煌の莫高窟、大同の雲岡石窟と並ぶ広大な三大石窟の一つで、伊河畔に建つ石窟寺院の仏像は中国的造形美の極致といわれる。

白馬寺は仏教伝来時、派遣団の白馬が経典を積んで持ち帰った時建てられた廟である。此処で純白の馬に跨り小範囲ではあったが乗馬を楽しんだ。唐三彩の工場見学後夕食を摂り一服した後再び夜行列車で西安に向かった。今度は希望通り軟車であったが、揺れと騒音がひどく眠れなかったので、その価値は無かった。



洛陽 白馬寺

25日朝、シルクロードの出発点である西安着。直ぐにガイドを見付け一安心。西安は京都と同様有名な古都である。朝食後玄宗皇帝と楊貴妃の歴史的ロマンスが語

られる華清池等を見て歩いた。華清池は皇帝と妃が此処に住み温泉に入ったり、宴会や歌舞に明け暮れた場所として有名だ。近代史上では西安事件の舞台でもあった。城壁安定門は現存する中国の城壁の中では最も完璧なもので、シルクロードの起点とされている。西域からの物品もこの門を通過して中国全土に運ばれた。現在は夜になるとライトアップされているようだ。この後世紀の大発見といわれる秦始皇帝の兵馬俑を見学。実物大に近い兵馬は、地中から甦った歴史の証人のようで、表情は気魄に満ちていた。



西安 兵馬俑

この日は日曜日でもあり中秋節でもあったので人出が多かった。道端で石榴売りを多く見掛けた。聞くところに依ると当地では、お月見の時には月餅と共に石榴を食べるそう。石榴には球形の実がぎっしり詰まっていることから家族団欒を表すらしい。因みに北京では月餅と梨の組み合わせとのこと。「梨」は「離」と発音が同じで縁起が悪いとされるが何故だろう。謂れは聞き洩らした。

昼食は西安名物の餃子。一口サイズの蒸し餃子で、形は花あり動物ありで餡も全て違い、十数種もの餃子は珍しく美味であ



西安 大雁塔

った。午後慈恩寺、大雁塔を参観。この七層の塔を古の留学生阿部中麿呂も仰ぎ見たのだろうか。最上階からは街を一望できた。

26日午前、唐十八陵見学。乾陵は文化大革命の折の破壊活動の跡が見られた。この頃数多くの古代遺跡がこの憂き目に遭ったとのこと、中国のみならず世界史上に於いても残念なことである。

古都西安に別れを告げ向かった空港で、日本でも滅多に逢う事のない講座の高老師にぱったり出会いお互いに吃驚。離陸時間が大幅に遅れ、日は暮れるし北京到着時間も未定、アナウンスの中国語も聞き取れず、不安が募っていたので地獄で仏の感で機上の人となった。「枯木逢春」は中国語で「地獄で仏」の意味をもつと教わった。機内の窓から見た十六夜の月は格別美しかった。

27日、ガイド役の向さんが北京市内を案内してくれた。天安門広場は世界に名だたる広場で、50万人もの人を収容できるという。TVでお馴染みの場所であるが、実際に目の当たりにすると壮観な規模に目を見張った。其処彼処で国慶節の飾り付けの準備が行われていた。城楼に登り政府の要人よろしく広場を見下ろし「大家好！」と叫んでみた。以前皇帝の庭園だった北海公園は風光明媚な公園として有名で、

現存では最古の王宮庭園だ。快晴の天空に見えたラマ教寺院の白塔が美しかった。この白塔はチベット仏教を信仰していた順治帝の創建だと聞いた。この場所にある九龍壁は中国三大九龍壁の一つだ。

公園内にあるレストランに王老師のご両親と姪御さん達をお招きし昼食を共にした。初対面ではあったが、父上が日本語が多少話せたお陰で、旧知の間柄のように話が弾み時間が足りないくらいだった。テーブルに乗った山海の珍味は昔の宮廷料理の再現だけあって、料理の種類も多い上、盛り付けも繊細で美しく美味で皆満足した。食後子供達と中国語で「大海呀故郷」を歌いながら散歩した。この時の歌声は今でも耳元に甦ってくる。



天安門広場・国慶節飾りつけ

午後景山公園へ。人口の山で山頂に着くと、眼前には整った故宮の全景が広がり、その美しさに感嘆の声を上げた。北京の故宮は世界で現存する最大の帝王宮殿群である。500年間皇城であったという紫禁城が現在の故宮だ。

28日、仲間の二人と付近の公園に行き、太極拳のグループに入れてもらい一緒に24式太極拳を教わった。

朝食後一日面包車をチャーターし万里の長城へ。長城は古代の壮大な建築物であり世界の七不思議の一つとも言われ、また月から見る事ができる唯一の人口建築物とも言われている。石段を喘ぎながら登りきり万歳を叫んだ後お弁当を食べたり、覚えてたの太極拳の練習をして周りの人達に笑われてしまった。

その後明の帝王陵墓群である明の十三陵へ。中国で現存の最大のもので、規模はそれぞれ異なる。地下宮殿は一本の柱も梁も無く、天井は全て石をアーチ型に組んであり思わず目を見張った。工芸技術は中国古代建築の最高レベルと言われている。



北京・十三陵地下宮殿

帰途路上で哈密瓜と焼き栗を買った。焼きたての栗は横浜で売られている甘栗より素朴で香ばしく美味しかった。

29日、頤和園をやや急ぎ足で観光。西太后の避暑地だった所だが、様々な経緯を経て1953年公園となり一般に公開された。中国現存の最大古代園林で「万寿山」「昆明湖」の二大風景区から構成されている。面積の四分の三は水域が占めている。有名な「長廊」はゆっくり見ることができた。



北京・頤和園

長さ728mの世界最長の画廊である。梁の分部には人物、山水、花鳥など、また西遊記、三国演義、水滸伝の名場面が描かれている。



頤和園・長廊

一休みしながら辺りを見回すと、毛色の違った留学生らしき外国人が大勢来ていて、お互いに流暢な中国語で話していたので、違和感を覚え凝視してしまった。金髪同士でも同国人とは限らない。もしかして英語圏の人と英語が話せないヨーロッパ人？等と想像逞しくしながら会話に割り込みたかったが、さすがにその勇氣は無かった。武者修行実践の良いチャンスだったのに。

頤和園を後にし、文房四宝で有名な瑠璃廠へ。明、清時代に文化古城として栄えた所だ。清時代の建物を復元した街並



北京・瑠璃廠

みが続き、今まで見てきた所とは可成り雰囲気異なる。老舗栄宝齋に立ち寄り透かし入りの便箋を購入後、店員が話す日本語を我々が中国語に訳したりして北京最後の一時を楽しく過ごした。

30日、北京滞在中お世話になった向さんと日本での再会を約し北京を後にした。もう一日滞在できれば、本場の国慶節祝賀風景が見られたのに残念だった。途中寄った大連を離陸する時は国賓待遇のように解放軍の兵士が直立不動の敬礼で見送ってくれた。

綿密に計画した用意周到な旅ではなかったが、武者修行の成果は別として、全ての日程において好天に恵まれ、事故も無く過ごせたことは感謝であった。壮大な建築群、悠久の文化、名所旧跡、美しい大自然、風景は深い印象を与えてくれた。思い出すと今でも懐かしく走馬灯のように浮かんでくる。(横浜教室・ボランティア)

夏のキャンプ地、群馬県前橋市赤城山について

波多野 重信

群馬県は地図上で見ると、「鶴」の形をしています。北は新潟県と福島県、西は長野県、南は埼玉県、東は栃木県、海に面していない内陸県です。



南東部、栃木県と埼玉県に挟まれたJR高

崎線沿いの、鶴の首から頭にかけて部分は関東平野となっていますが、それ以外は、関東山地や三国山脈がつらなり、又、上毛三山「赤城山、榛名山(はるな)、妙義山(みょうぎ)」が美しい裾野を広げています。

群馬県の古墳は東日本随一と言われています。大規模な前方後円墳の数は抜きんでいます。高崎市にある「観音山古墳」は全長98m、古墳の上からは榛名山のすそのからなだらかに広がる関東平野が見渡せます。又、太田市にある「天神山古墳」は全長210m、東日本最大です。5世紀半ば、当時群馬から栃木にかけての一带を支配していたとされる毛野氏(けぬし)の首長の墓と考えられています。群馬の古墳は馬具類の出土が多く、上毛野(かみつけぬ)の豪族達が盛んに馬を生産していたようです。

そうして、昔から上毛、上州、上野(こうずけ)国と呼ばれてきました。県庁所在地は前橋で、総人口200万人武蔵の国につらなる、馬が群れる豊かな大地のイメージです。日本史の上で名の残る武将達、新田、足利、佐野、熊谷、上杉、武田、真田、などが勇猛果敢に活躍した地です。

前橋市は、赤城山南麓に位置し、全国の県庁所在地では海から最も遠いそうです。夏が暑いのは天気予報で連日報じられます。冬は季節風が激しく、「上州のからっ風」とよばれています。日本海からの寒風が新潟県に雪を降らせ、風のみが吹きつけます、雷も多いです。江戸時代前半ま

で、酒井、松平の城下町でした。今では、城跡は利根川に削られ、ほとんど見る事ができません。

前橋以外の主要都市は、街道、交通の要所である信越線と上越線に分かれる県の中心地域の高崎、周辺では古墳群が多く見られます。関東では織物業都市として古い歴史をもつ桐生、桐生駅からは日本の産業史や公害問題の原点とも言われる足尾銅山へと「わたらせ渓谷鉄道」が続いています。併で有名な伊勢崎。自動車関係の工業が盛んな太田市などがあります。前橋駅から足利、栃木を通過して東北本線小山駅をむすぶ両毛線ぞいです。

新潟県との境は山また山であり、上越線、上越新幹線、関越自動車道は谷川岳近くを、4本の長い清水トンネルなどで「雪国」の湯沢へと結ばれています。あの流域面積日本一の「板東太郎、利根川」も県境の山々からの流れが奥利根湖となり、矢木沢ダムなどいくつかのダムをなし関東平野をうるおし、銚子で太平洋へ流れ込んでいます。

福島県との境は短く、あの尾瀬ヶ原や尾瀬沼が横たわり尾瀬国立公園となっていて、車で直接福島県に行くことはできません。

長野県境も山々です。県境沿いにある野反(のぞり)湖からの流れが、中津川となり長野県秋山郷をかすり新潟県に入り信濃川に合流していて、尾瀬の水が阿賀野川となるのと同じに、関東でただ一つ日本

海に流れ入る川を持つ、分水嶺のある県です。活火山の白根山と草津温泉、噴煙を上げる浅間山と、急勾配の信越線が用いていたアプト式鉄道があった碓氷峠があります。あの1985年8月に起きた日本航空機墜落事故で、520名もの人たちが犠牲となった、上野村御巢鷹山も一番南の県境にあります。

こういった周囲の県境からより内側に、関東平野を狭めるように上毛三山が迫っています。こういった地形上移動は大変です。群馬県の各家庭が持つ車の台数は日本のトップクラスです。

JR線で横浜駅から前橋駅まで約140km。東海道線と中山道沿いに走る高崎線で、高崎、前橋まで行くことは、ほぼ関東平野の中心を通過して行くことになります。みなと横浜から上越国境、山地に向けての移動です。私たちのキャンプではバスでしたから、関越高速道を走り、直接に、赤城山上まで行きました。山を登る道路ほどの道でも同じように、「七曲り」があります。赤城もありました、緑の葉に覆われた木々の間を、右に左にと何度も曲がりながら、やがて湖らしきものが見えてきました。観光シーズンが終わったようで人は少なかったです。

日本の山の名称は総称で言われることがあります。赤城山もそうです。いくつかの峰があり、黒檜山(くろびさん)1,828mが最高峰です。それらに囲まれて、火口湖の大沼、(海拔1,340m、周囲4km、水深

19m、関東一の「わかさぎ」つり湖)と小沼があります。「山の淋しい湖に～水にたそがれせまる頃岸の林を静かに行けば雲は流れてむらさきの薄きすみれにほろほろといつか涙の陽が落ちる」(佐藤惣之助)。昭和15年に、高峯三枝子が歌ったこの「湖畔の宿」の歌詞は、榛名湖畔に歌碑があります。近くに伊香保温泉のある榛名湖より、周辺に観光地の少ない大沼のほうがずっとこの歌詞から受ける印象にあっています。

旅行シーズンが終わったのか、人は少なく、ゆっくりと各自持参のお弁当を食べました。それから、おもいおもいに岸辺を散策し、赤城神社を見学したりしました。宿舎はバスで約30分弱でした。

○「赤城」という言葉から思いつくことは

明治、大正、昭和に、講談や新国劇の人気だった、「国定忠治」赤城の山も今宵限り・・・かわいい子分のでめえ達とも、別れ別れになる門出だぁ・・・。

○「赤城の子守歌」昭和9年。歌詞佐藤惣之助。歌東海林太郎。

泣くなよよしねんねしな山の鴉が啼いたとて泣いちゃいけない

ねんねしな泣けば鴉がまた騒ぐ

3番までの歌詞の中では、国定忠治の話を知らない人には、なぜ赤城山と関連があるか分かりません。

ちなみに、佐藤惣之助(1890～1942)は「人生劇場」「人生の並木道」など多くの歌を出し、阪神タイガースの歌「六甲嵐(ろ

っこうおろし)」もそうです。東海道川崎宿、川崎駅近くの生家跡には碑があります。(横浜教室・ボランティア)

ユッカの会夏のキャンプ 参加者感想まとめ

群馬県赤城にて2010年8月23～25日

波多野 重信

1) 目標「友だちになろう！すすんで行動しよう！協力しよう！」について

○小中高生：ほとんどの人と友達になれて、ほかもできたので良かったです。・がんばりたい。・良くてきたと思う。・できた！！・最初はなれなかったけどすぐに友達ができました。・まあまあでした。・自分では、この3つはちゃんとできたと思った。・どうでしょう。・良かった。・よくしゃべりました。特に抵抗なく、すべて順調でした。・いろんなことをたくさん話して、活動してみても楽しかったですけど、あんまり目標についてはしていなかった気がします。逆に、話しかけてくれた人が多かったです。・私はすすんで協力しました。・みんなとは友達になった、目標もできた。・友達といっしょにキャンプを楽しむことはおもしろかったです。でも、初めて会った子と友達になれたことが一番うれしかったです。・ほとんど実行できました。目標に沿って行動するのは大変だったけど、大切なことだなと！と思いました。・できました！！

友だちがいっぱいできました。この3日間
たのしかったです。・いいと思います。

○リーダー:目標に関しては班の人や部屋
の人との交流はできていたと思います。カ
レー作りではみんなで協力しておいしい
カレーが作れてうれしかったです。・今回
のキャンプでは多くの友達ができるとも
たのしかったです。・目標はできたと思
います。新しい友達もできました。・グル
ープのリーダーとして自分から進んで協
力しないと、と思い、責任をもって行
動できた。

○ボラ:今まで話したことのない人とも
たくさん話ことができました。参加した
人全員と一言交わせたからよかったです。
・私は短い時間であったが達成したと
思う。全体の評価は一人ひとり違うと
思うが。みんな進んで協力できるように
頑張りました。・ほかのボランティア
とも、ちっちゃい子ども仲良くなれた
のでよかったです。・おそらくこの目
標は、参加者一人一人が達成できた
と思います。年齢や、男女に関係な
くたのしめたと思います。

2) ア) どの活動がよかったですか。

○小中高生:カレー作りみんなでやれた 4

人。・スタンプ 3人。・オリエンテー
リング 2人、一位になれた。・花火 2
人。・足尾銅山観光4人、群馬までや
ってきた気がする。・体育館活動。・朝
の活動。・なんでもバスケット。・キ
ャンドルファイヤー 2人。・ぜんぶ。

○リーダー:カレー作りや、体育館活
動がとくに楽しかった。・オリエン
テーリングは、班でやるので、す
ごく班がまとまっていけるので、よ
かったと思います。・カレー作り、
オリエンテーリング、チームの
みんながまとまって協力できた
と思う。・他3名。

○ボラ:スタンプ。一気に皆がうち
とけた気がします。・スタンプ。各
班の個性が出たと思った。また、
わからない人はわからないなりに
がんばっていた。

・カレー作りで協力できたこと。
・総合的に、内容が濃くて、暇
がないほどのプランですごく
楽しかった。

イ) よくなかった活動

○小中高生:特になし 5人。・けん
かした。・山登り(オリエン
テーリング)、暑くて大変
だった 7人。・夜の活動。・昔
より全体的



に活動が地味になった。・唯一だめだったのが、活動じゃなくて、暑かったことです、のどがかわいて。・班長の自己紹介。

○リーダー: 登山がないのはかなしかったけど、オリエンテーリングも楽しかった問題なしです。・キャンドルファイアーは、時間がなくてあまりできなくて残念だった。・体育館活動が、個人の自由時間になってしまったのが残念です、みんなで何かやりたかった。・オリエンテーリング。・とくになし。

○ボラ: とくになし5人。施設は広くて、わかりやすかったです、部屋が始めきれいでなかったのが、よくなかった。

ウ) 他にしてみたい活動は？

○小中高生: 班対抗スポーツ大会2。・リレー。バーベキュー。・ドッジボール。
・遊園地へ行く。・部屋でゴロゴロする時間。

○リーダー: 登山 3、・キャンプファイアー 2、・きもだめし。

○ボラ: ・歴史的な場所。・登山や、海水浴など、その土地にあった活動。

3) 自分の行動、責任について

ア) よかったところ

○小中高生: 知らない友達に声をかけることができた。・みんなと仲良くできた。・リーダーやボランティアの人の話をよく聞いた 2。・ルールを守って行動することができた。・少しはみんなと協力できてよかった。・ないと思う 3。・去年より全然いいです。・自分の責任や係りの仕事は

ちゃんとできた。・ボランティアのいうことを注意した。・並ぶのを素早くすることを心がけた。・ちゃんと朝起きました。・時間を守りました 2人。・わかりませ〜ん。・ダンスを練習していたときに、一生懸命努力した。

○リーダー: 一日目の反省で、2日目から点呼のスピードが早くなって、少しスムーズになった。・注意された点を、すぐに直したところ。・新しい友達を作り、みんな仲良くできたところ。・積極的に話しかけたりして、交流を深められた。・規則を守った。・しっかり班をまとめられた。

○ボラ: 周りの人に声をかけながら誘導できた。・がんばってもりあげた。・自分で言うのもなんですが、全体のフォローはかなりできていたと思います。

イ) あまりよくなかったところ

○小中高生: 一緒に遊ぼうと声をかけてあげられなかった。・ロげんかばかりしていた。・掃除をやらなかった。・けんかをしていた人がいた。・時間をまもれなかった。・ゲームに参加してなかった。・部屋のかぎの管理を気をつけてなかった。・夜遅く寝た。・夜、ほかの人と一緒に話して、2時ぐらいになるときがあった。・オリエンテーリングの方向はまちがいだった。

○リーダー: 時間配分を考えずにやってしまい、遅れてしまうことがあったから、もっと時と状況を理解してできるようにしたい。・もっとちゃんと話を聞いていきたいと思った。・リーダーとしてはまだまだ甘い

ところ。・提案を出していくのがうまくいなくて、班員を引っぱれなかった。・12時過ぎても寝ないで話していた。・多くの人交流したかった。

○ボラ:時間に遅れることが少々あった。・時間を守る、人の話を聞く。・最後疲れて面倒くさくなった。・時間があまり守れなかったので残念です。・毎年のように、もう少し指揮力があってもよかったです。

4) 生活班の活動はどうでしたか。

ア) よかったところ

○小中高生:皆協力できていた7。・楽しかったです 2。・できないことはみんなの力を合わせてできた。・おたがいの理解。・リーダーさんがしっかりまとめてくれてすごいなと思いました。・メンバーもすごく優しくて良かったです。ノリも良かったです。・リーダーがおもしろかった。・みんながおたがいに助け合って、心が一つになった。・団結力 2。・カレーを作るところ、班のチームワークがいいので一番早く終わった。・仲良くできた！！全体を通してよかった。

○リーダー:集まりが早かった 2。何事も進んで行動してくれた。みんなすごく団結していた 2。言葉がわからなくても、なんとかして伝えようとした。ケンカもなくスムーズにできた。

○ボラ:皆が仲良く、スタンプでも、進んで練習しようとしていたところがよかった。・みんなに、まかせきりにできた。・考えながら動けたところです。・全部、6班最

高。・はやい段階でうちとけることができた。・わりとスムーズに、掃除などができたと思いました。

イ) うまくいかなかったところ

○小中高生:火をおこすのがむずかしかった。・普通だったと思う。・面白さが少ない。・就寝時間を守れなかった。・積極的に話に参加しなかったところ。・言葉がつうじあえなかったこと。・部屋清掃はきちんとしたけど、自分から進んで行動できなかった。コミュニケーションが上手にとれなかった。・つかれてちょっともめたところ。・山に登る道に迷った。・ぐあいが悪くなってしまったところ！・経験はあまりすくないです。・とくにない 6

○リーダー:オリで、チームワークが前半完全になくなってしまった。・話を聞かなかったから道に迷った。・スタンプの発表。・点呼をするのがおそくなった。・中国語しか話せない人と、日本語しか話せない人がいて、交際がよくできなかった。・朝の起床。

○ボラ:すこしさわぎすぎでいたところ。・寝る時間を守らせることができなかった。・コミュニケーションがうまくとれなかったのでは？2人

5) 全体を通しての感想

○小中高生:ふろの湯があつかった。・日本語がわからないので会話しなかった。・ゴミについては不便だった。・みんな、もともと知り合いのようにとっても仲良かった。・楽しかった。・夜、ねるのはおそかつ

た。・面白さが少ない。・今回ははじめての参加だったので、いろんなことがわからなかった、でも楽しかった。

・ひとりでいたコがいたから、みんな声をかけあってほしかったです。・もっと私たちも、いろいろなことに手伝えれば良かったなって思います。

○リーダー:リーダーやボランティアどうしが、電話のやりとりができるようにしておくといいと思った。・全体の集合がおそいので、もっと早く集まれば良かったと思います。・今年は、暑い中、みんな汗を流しながら楽しいキャンプができたので、良かったと思います。・3日間を通して予定がいっぱいあって、合間の時間が少なかった気がした。あと、カレーとかの食べすぎは体に良くなかった。(笑)。・一人でどこかに行ってしまう人がいた。集合時間が遅い。

○ボラ:予定していたスケジュールと違うことが多くあった。教職で教わったことがリアルで役に立ったこと。次に、自分たちでどうにかしてみせるという意志を感じた。自分で思い実行に移したら自分ですべてやってほしい。・集合が遅い。・リーダーがたぶん、一番良かった年だと思いました。なんだかんだで、みんな率先して行動していたと思いました。・参加者も、若いボランティアも、変ぼうをとげているようだ。

6) リーダーとしての感想:

完璧にやりとげられずごめんなさい。・今年初めてリーダーをやってみました、思

ったより大変で、重みのある役だと思いました。来年もやるならちゃんとしたリーダーをしたいと思う。・おつかれさまでした。みなさんのお蔭さまで楽しいキャンプができました。ありがとうございました。・ちょっと足を引っ張ったところもあったけど、ボランティアの皆さんほんとうにありがとうございました。一回の旅行を一生の思い出にします。・みんなをまとめたり、動かしたりするのは大変でしたが、いろいろな経験ができて楽しかった。

7) ボランティアとしての感想:

皆が、協力をしてくれるいい子だったので、スムーズに行事をおこなうことができました。ありがとうございました。・非常に疲れましたがよい疲れ方ができました、ありがとうございます。・一生懸命自分の役割をがんばったのでよかったです。・できたら来年も参加したいです。ボラは初めてなので、ちゃんと全体をリードできたのか不安です。この機会に、数年ぶりの友人と再会したし、新しい友達もできました。すごくたのしかったです。・この思い出ができてとてもよかったです。ありがとうございました。・短い三日間でしたが、皆さんお疲れ様でした。来年も楽しいキャンプで過ごせますよう頑張りたいです。

8) 来年も参加したいと思いますか。

参加したい 19人

回答者。小中高生:20名、リーダー:6名、ボランティア:7名

(横浜教室・ボランティア)

前を向いて・・・

中 和子

2011年、新しい年を皆様
いかがお過ごしでしょうか。ク
リスマス会を開催しなかった
昨年の12月、何か物足りな
さを感じたのはわたしだけでしたでしょうか。



1月6日補習教室の「面接練習」でユ
ッカの会の年が明けました。また、「成人を祝
う会」、「しゃべり場」と共催する第1回「春
節を祝う会」の準備に入りました。

年末「今年のクリスマス会はいつです
か？」こんな電話を何本かいただきました。
「1月に春節を祝う会があります」とお答え
したものの、交流活動のあり方を引き続き
検討しなければと思いました。

5月のバーベキュー会は雨で中止。こち
らも実施の希望が何件も寄せられ、晩秋の
11月28日こども自然公園で実施しました。

8月行われたキャンプはボランティアの世
交代、大学生が頑張ってくれました。そ
の仲間たちがバーベキュー会、集中補習
教室等いろいろな場面で協力してくれたこ
とが2010年度一番の印象です。長い時間
をかけて育まれた補習教室ボランティアとの
信頼関係の賜と嬉しく思います。

1月23日(日)は成人を祝う会があります。
新成人と集いませんか。ぜひお出かけくだ
さい。

各教室活動は昨年と同様に行われまし
たが、東戸塚に補習教室「きらら」ができ、

東戸塚周辺の子どもたちにはそちらを紹
介し、何人か移りました。通いやすい場所
に教室ができることは子どもたちにとっても
プラスです。長続きするためにも、もっとも
っと身近に補習教室があったらという思い
はまだまだ拭えません。

この時期はユッカの会補習教室では高
校受験の話題で持ちきりです。課題解決に
は多くのハードルを乗り越えなければなりま
せん。先日も1月8日付けの朝日新聞の記
事「貧困救う学びの場」が話題になりました。
ユッカの補習教室の活動と重なる部分が多
く、この課題と向き合って試行錯誤を重ね
ているボランティアが大勢いるのです。

また、日本語教室では昨今の経済不況
の影響で日本語教室参加者が減っている
という話も聞かれますが、1対1の対応に人
気があり、まだまだ即学習者の希望に答え
ることができないこともあるようです。

定住する人たちにとって必要な日本語と
は「?」。頭の隅のクエスチョンマークが気
になります。

今年度ボランティアのための日本語勉強
会は休会の状態でした。内容検討の結果、
勉強会に代えて第1回「ボランティア懇談
会」を2月19日10時から予定しています。

各活動内容はホームページをご覧ください。
たくさんの写真でその場の雰囲気をお
届けできるよう構成されています。

また通信を発行し、紙面でも皆様に活動状況をお伝



えています。

以上継続してきた活動を少しずつ見直し、実行した2010年でした。

ユッカの会ホームページアドレス：
<http://www.max.hi-ho.ne.jp/miyairi/>

＜これからの教室活動＞

1. 補習教室(横浜・戸塚・本郷台教室)
問い合わせ:岩松 文江
・集中教室 (春の教室) 3月28日
2. 日本語教室(横浜・戸塚・本郷台教室)
問い合わせ:砂田 順子
3. パソコン教室(横浜教室)
問い合わせ:宮入 靖夫

＜これからの交流活動＞

1. 成人を祝う会 1月23日 711会議室
担当:日向 和子
2. ボランティア懇談会 2月19日 708会議室 担当:樋口 雅彦
3. 市民活動フェア 3月12日、13日
担当:波多野 重信
スピーチ会 3月13日 担当:波多野
4. 卒業を祝う会 3月27日 304会議室
担当:岩松 文江
5. 理科実験教室 3月27日 304会議室
担当:岩松 文江

＜事務局＞

1. 事務局会議 毎月第3土曜日
2. 連絡会 3月

総会に代わる決議機関として年数回開催されてきた連絡会についても検討中です。2011年4月から新しい組織編制で歩みだしたいと考えています。

今年度の運営は神奈川県社会福祉協議会のともしび基金、中国残留孤児援護基金、神奈川新聞厚生文化事業団からの助成金、会員の寄付で賄われました。また湘南白百合学園中等部、高等部の生徒さんから沢山のクリスマスプレゼントをいただきました。

無料で利用できるあーすぷらざ、県民センター、男女共同参画センターのフリースペースはなくてはならない教室活動の場でした。活動の場、資金、人の確保に多くの方々のご支援をいただいたこと、感謝です。

共に学び育つ・・・ユッカの会の目指すもを皆さんで共有できる場の確保をこれからの目標にしたいと思います。

そして今後もよりしなやかに柔軟に迅速に気付きに対応できるユッカの会でありたいと願います。

皆様のご意見、事務局までお聞かせください。

(ユッカの会事務局長)

